

平成 18 年度 第 1 回理事会議事録

期 日 平成 18 年 2 月 4 日 (土) 14:00 ~ 17:00

場 所 (株)開発工営社会議室

出席数 理事 24 名の内、出席 17 名、欠席 7 名

議 事

1 . 平成 17 年度各委員会活動報告

1.1 競技委員会

- ・ 競技委員長から北海道選手権大会についての報告があった。
- ・ 今年の運営において胆振支部、空知支部の協力が得られた。
- ・ 安全対策委員会によるマウスガード装着実態のアンケート調査が実施された。
- ・ 安全対策、コンディション管理対策を行ってきたが重症事故による死亡があり残念であった。
- ・ 今年も上位ブロックチームから 40 分ハーフの要望があり検討して行きたい。
- ・ 帯同レフリーが義務化されていることから、帯同レフリー不在・不足チームに対して支部、大学委員会を含め各委員会に講習会開催などのサポートの要請があった。

1.2 コーチソサエティー

- ・ コーチソサエティー委員長が欠席のため庶務担当理事からチームのコーチ有資格者義務化に関して説明があった。
- ・ 平成 18 年度からコーチ資格者がいないチームは登録できないようになった。今年度は講習会に全力をあげた。これから各支部で講習会の希望があればコーチソサエティー委員長まで連絡すること。また、3 月中に講習会が開催された場合希望するチームがあればコーチソサエティー委員長まで連絡すること (早急に)。

1.3 普及育成委員会

- ・ 普及育成委員長から活動報告があった。
- ・ 北海道中学生強化合宿はメニューを明確にしてやれたのが良かった。
- ・ 北海道中学生大会は 4 校が一同に会して例年になく賑やかな大会となった。また、新聞に取り上げられ中学ラグビーをアピールできた。
- ・ 早稲田大学対立教大学の前座試合は、観客に北海道のミニやジュニアラグビーを充分アピールできたことがよかった。年度当初から運営についての話し合いが充分されなかったことが課題である。
- ・ 1 月に東京で行われた東日本中学生スクール大会で初優勝ができた。

1.4 高校委員会

- ・ 高校委員長から講習会及び大会の報告があった。
- ・ 各大会の試合結果について資料をもとに説明があった。
- ・ オール北海道への道のりについて資料をもとに説明があった。
- ・ 今年度より行われた全国高校合同大会は、有意義な大会であった。レフリーが足りなかった。また、早めに広報ができなかった。
- ・ 新人戦大会は、大会が多く 11 月にずれ込んだ。

- ・ 強化合宿は、チームリーダー及び指導者の研修の場となっており有意義である。

1.5 大学委員会

- ・ 大学委員長から講習会及び大会について報告があった。
- ・ 各大会の試合結果について説明があった。
- ・ ベスト 15 及び優秀選手について理事会で承認された。

1.6 社会人・クラブ委員会

- ・ 社会人・クラブ委員長から活動報告があった。
- ・ 早稲田大学対立教大学の前座試合で行われたトップクラブリーグのタマリバ対北海道バーバリアンズの試合は観客が多く良かった。

1.7 メディカルソサエティー

- ・ メディカルソサエティー委員長から活動報告があった。
- ・ 北海道選手権大会で起きた重症事故による死亡に関してセカンドインパクトについての説明があった。

1.8 安全対策委員会

- ・ 安全対策委員長から活動報告があった。
- ・ 関東協会に重症事故の原因究明と防止策を検討する委員会が結成されたことが報告された。

1.9 ゴールデンオールディーズ委員会

- ・ ゴールデンオールディーズ委員長から活動報告があった。
- ・ 全道すみずみからメンバーを集めるため各支部に協力の依頼があった。

1.10 広報委員会

- ・ 広報委員長から活動報告があった。
- ・ ミニ・ジュニア・タグラグビーなどについては小中学校や子供会などにも情報を発信する必要がある。

1.11 規律委員会

- ・ 規律委員会から活動報告があった。

質問・意見

(北海道選手権大会)

- ・ 競技委員長から平成 18 年度の北海道選手権大会の開催日程が示された。
- ・ 日程は、7 月第 2 週の土日曜日の 8 日、9 日第 3 週の日曜日の 16 日に開催することが決定した。
- ・ 協会としては、第 2 週からの開催については賛成反対の両意見があることは承知しており総体的に考えるが、大学生の多くが受験する公務員試験が 7 月第 1 週にあり、大学チームは大会参加チームの 1/3 占めることが判断材料となる。
- ・ 市民大会との調整が必要となる。

(北海道中学生交流戦)

- ・ 普及育成委員長から北海道中学生交流戦の報告が行われた。

(タグラグビー)

- ・ 普及育成委員長からタグラグビーの報告が行われた。
- ・ 今年度は4地区からの代表で北海道ブロック大会を行ったが、来年度からは10支部で予選を行い北海道ブロック大会を実施することが決定した。

(普及育成)

- ・ 各支部で普及育成委員を1人選出し道協会の普及育成委員会に入るようにすることが決定した。道協会の例規改定が必要になる見込みである。

(セカンドインパクト)

- ・ セカンドインパクトの問題については、各委員会で取り組むことが確認された。

2. 平成17年度会計中間報告

- ・ 会計担当理事から、平成17年度のチーム登録者数、傷害報告及び中間会計について報告された。
- ・ 平成17年度のチーム登録数は、158チーム4,253名でチーム数・人数とも減少している。
- ・ 個人登録方法が各支部によってバラバラである。申込みと入金が揃ってはじめて登録となることに注意してほしい。
- ・ 傷害見舞金の請求手続きにおいて、傷害報告書(見舞金請求書)及び傷害診断書の提出期限切れが発生している。各支部を通じて各チームへ指導を行うように要請された。
- ・ 会計担当者から、有料試合の収支決算について説明あった。チケット購入の連絡や代金支払が遅く集計に支障が出ている。支部を通じて各チームへ注意を促すように要請された。

3. 平成18年度事業計画について

- ・ 庶務担当理事から各委員会の事業計画(案)の取りまとめ資料、事業計画日程(案)資料について説明があった。
- ・ 社会人・クラブ委員長から北海道クラブ選手権大会の変更案について説明があった。案について支部で充分協議することが要請された。また、理事会からは各大会によってグラウンドの確保が難しいため日程を加味して方針を決定することを委員長に要請した。
- ・ 各委員会の事業計画・実施申請については、協会三役の検討により決定することが了承された。
- ・ 東医体担当理事から今年度の東医体大会を8月1日から13日の日程で実施することが示され了承された。

4. その他

- ・ 普及育成委員長から資料にももつぎ普及育成方法について具体的な要望があった。要望については各支部で普及育成委員会を早急に立ち上げ要望に沿った検討を行うことが確認された。
- ・ 第2回理事会の日程を、3月25日(土)14:00開催することに決定した。